



昭和62年度 社団法人 大学婦人協会 予算(案)

(昭和62年4月1日~昭和63年3月31日)

Table with 2 main columns: 収入の部 (Income) and 支出の部 (Expenditure). Each column has sub-columns for 大科目 (Major Category), 中科目 (Sub-Category), and 小科目 (Minor Category). It lists various financial items like '基本財産運用収入', '事業収入', '入会金収入', '会費収入', '補助金収入', '寄付金収入', '雑収入' and their corresponding amounts for the previous year and the proposed budget for 1987.

JAUW 新春のつどい

財務委員長 加藤 恭子

正月の気ぜわしさも終って、はっとした一月二十四日「JAUW新春のつどい」が品川駅前のホテルペンブックで開かれました。これは私がおよそ一年前から期待と不安をもちながら温めてきた企画でした。私が大学婦人協会東京支部のメンバーの一人として感じていたことの一つに、ある時期何かの仕事を務められた方が任期を終えられると、殆んどお顔をお見せになられなくなる淋しさがあります。会費だけ送金されて参加されない会費員が大勢いらっしやいます。きつとこの方達もたまには気楽な集まりがあれば、ご出席なさるのではないかと思います。一方財務委員長の仕事を引き受けてこれぞ三年、あと任期を一年残すだけとなりましたが、いつも「お願いします、お願いします」とお願いしつづけて、バザーに旅行に観劇に

国外奨学生を囲む会

白井 常

二月十四日東京支部委員と国外奨学委員会との共催で、一九八六年度の国外奨学生として去年九月二十五日印度から来日されたマドラス大学教授 Dr. Mahalingam Senthapalan をお招きして、日本滞在中の研究成果について発表して頂いた。教育会館五〇二号室で会長伊東すみ子氏の英語の御挨拶で始められた。生憎当日は私学の入学試験で、出席できなかった委員も若干名あったが、十八名の聴衆を前にして、午後二時から一時間半に亘って、「X線回折および吸収分光法によるイオン伝導ガラスの構造解析」という題で、日本で試みられた物理学の実験の話を中心とした。通訳には同じ専攻の時枝裕子国外奨学委員が当たられた。門外漢の

(前頁より続く) 柔軟な態度が見られ、重要性を強調しましたし、次回に繰り越しになりました。人が人民の人権に関する決議案を提出し、また従来からの決議案についてもイデオロギッシュな表現の修正に際してより多数の賛成を得る等、一口でいってより



新春のつどい

新入会員 (5名)

(昭和61年12月13日~62年2月7日現在)

- 東京支部 (4名)
田ノ倉千鶴子 早稲田
山品みゆき 上智
大岩 一美 武蔵野音大
茨城支部 (1名)
吉田 洋子 津
波多野葉子 上智

会員の皆様へお願い

「第三十回通常総会」へ出席、欠席のご返事をいただくのが会報と同封でお送りいたします。これは事務手続上全会員からいただくかなければなりませんので、皆様折り返しご投函下さい。

総会ご出席の皆様へ

「昭和六十二年度予算案」を本号に掲載いたしましたので、総会ご出席の方はこの会報をお忘れなくご持参下さい。